

## 来る5月25日は「主婦休みの日」

### 日本初!“主婦”が主役の記念日を制定

5月25日、9月25日、1月25日の年3回を日本記念日協会に登録  
主婦のためのリフレッシュデーに

女性のための生活情報紙「リビング新聞」(全国57エリア850万部、首都圏17エリア266万部発行)では、このたび5月25日、9月25日、1月25日を、「主婦」が主役の記念日「主婦休みの日」として制定。日本記念日協会への登録を承認されました。直近の5月25日をスタートとして、日ごろ家族のために家事をがんばる主婦がリフレッシュする日、また家事の大切さを家族で分かち合う日としても広く社会に浸透するよう活動を行います。

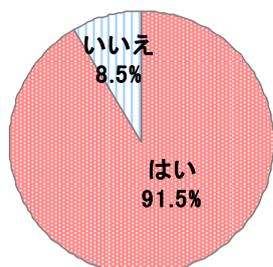
### 1. 「主婦休みの日」の趣旨

日ごろ家事を主に担当している「主婦」が、家族や世の中に対して気兼ねなく家事を休み、自分磨きやリフレッシュに有意義な時間を過ごす日、それが「主婦休みの日」。「リビング新聞」では、「主婦休みの日」が定着することで、主婦がさらに明るく家庭を運営するためのエネルギーを得て、また主婦や家事の価値が、さらに社会に認められていくと考えています。

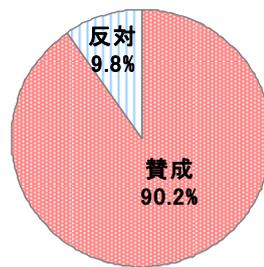
※本件の「主婦」は専業主婦だけではなく、普段から家庭で家事を主に担当している人を意味し、広義に「主夫」も含みます。

- 家事は、だれにとっても生活を維持するために欠かせない重要な仕事ですが、区切りなく続くことにストレスを感じる人が多いのも事実です。「家族に気兼ねなく家事を休める日が欲しいか」という質問に対して、91.5%の主婦が「はい」と回答しています(下グラフ)。
- いつもは家事を主婦に任せがちな男性や子供たちが、「主婦休みの日」を機会に家事に取り組むことで、その価値を再認識し、家族の絆を深める日としても訴えていきます。

グラフ① <既婚女性> 誰にも気兼ねなく家事を休める日がほしいですか？



グラフ② <既婚男性> 妻に主婦休みを取りたいと言われたら、賛成しますか？



概要 WEBアンケート調査

女性/2008年11月27日~12月1日、有効回答数2262。男性/2008年12月11日~14日、有効回答数340

## 2. 日取り（5月25日、9月25日、1月25日）に関して

○「リビング新聞」（首都圏版）では、2009年1月24日号で、読者の声に基づき「主婦休みを取ろう」と題した記事を掲載。「主婦休みを取りたい時期」についてのアンケートも実施しました。その結果多数だったのが、春の「ゴールデンウイークの後」、秋の「秋の行楽シーズン」「家族の夏休みの後」、冬の「年末年始の休みの後」という結果でした（下表）。家族の長期の休みは、家事がかえって忙しいという主婦ならではの事情を反映しています。

「主婦休み」がほしい時期は？		
1位	秋の行楽シーズンごろ	…331票
2位	家族の夏休みの後	…312票
3位	年末年始の休みの後	…293票
4位	ゴールデンウイークの後	…165票

※2009年1月22日～2月5日ウェブアンケート  
n=1333

気兼ねなく休める日があればしたいこと		
①	友達とのんびり会う	…46.3%
②	プチ旅行に出かける	…45.5%
③	ゆっくりショッピング	…38.8%
④	家で一人でくつろぐ	…37.4%

※2008年11月27日12月1日ウェブアンケート  
n=2262

○この結果を踏まえ、5月25日、9月25日、1月25日の3日を、「主婦休みの日」として決定することとしました。「25日」は覚えやすさとともに、この日が給料日である会社も多く家計がひと息つける日にあたるということで、同日を選定しました。この「25日」から1週間を「主婦休み週間」として、その期間の週末、平日など各家庭の事情にあった日に「主婦休み」を取ることを提案しています。

## 3. 日本記念日協会登録について

- 「主婦休みの日」の認知を高めるため、日本記念日協会に登録を申請、承認され、同協会のホームページで紹介いただいています。
- 同協会に登録された記念日のうち、「主婦」がテーマの記念日は「主婦休みの日」が初めてです。※2009年5月14日現在

日本記念日協会ホームページ「今日の記念日」  
( <http://www.kinenbi.gr.jp/> )

★ 同HP内の「記念日検索」の窓に、  
5月25日と入れて検索を

日本記念日協会  
今日の記念日  
記念日登録される方へ 登録ページへ Go!!

新追加の記念日

・生誕の日 / 6月15日	・主婦休みの日 / 1月25日 / 5月25日 / 9月25日
・母の日 / 5月8日	・母の日 / 5月2日
・さくらんぼの日 / 5月6日	・カワフオルニア・レースデー / 5月1日
・ズナスの日 / 3月10日	・六千の日 / 7月25日
・ペーパーズの日 / 5月18日	・メディア・リテラシーの日 / 6月27日

日付検索 5月 25日 検索 キーワード検索 主婦 AND OR 検索

【キーワード検索】主婦 6月8日

当日の記念日

● 主婦休みの日 / 1月25日 / 5月25日 / 9月25日 HP

年中無休で家事や育児にがんばる主婦が、日ごとについて自分磨きやリフレッシュするための休日が「主婦休みの日」。女性のための生活情報誌を発行する株式会社サンク・リビング新聞社が中心となり制定。日付は年末年始、ゴールデンウィーク、夏休みなどの主婦が忙しい時期のあとの平日で設定したもので、日中は家事や育児を主婦に任せがちなパパや子供たちが家事に駆け込み、その価値を再認識する日との意味も持っている。

## 4. 主婦の声・夫からのメッセージなど

- 「主婦休み」大賛成です。主婦に休みはありませんから。それに、主婦は大切な家族の生活や命を育む大切なお仕事です。主婦がダウンしたら、もう家は崩壊です。そうならないためにも、そういったゆっくりしたひと時があって当然です。(名古屋市／32歳)
- なんとなく常に家にいて家族のみんなのサポートという感じなので、一日朝から夕方まで自分の事で行かせることはほとんどない。こういう時間が持てたら、リフレッシュできてさらに生き生きと明るく過ごせそう。(川崎市／36歳)
- 主婦って「いつも休み」と思われているんじゃないかな？と思っていました。本当は年中無休なのに。この提案に大賛成です。(相模原市／41歳)
- 自分からはなかなかアピールできないので、一年に一日でもそんな日を作る習慣を提案してくれるとうれしい。(横浜市／34歳)
- 「主婦休み」を望む人が多いということ、世の中の人により知ってもらいたい。(八千代市／38歳)
- 子供が小さいなど立場にもよりますが、家族が長期休みのときは主婦は意外と忙しいもの。家事からの解放感に浸れる時間が一日でもあればリフレッシュできると思う。(練馬区／32歳)
- 気兼ねなく！これが重要だと思う。(八潮市／38歳)

**父親支援 NPO 法人「ファザーリング・ジャパン」代表幹事 安藤哲也さん  
「妻は堂々と言いつくそう、夫は気持ちよく引き受けよう」**

“主婦（夫）休みの日”は、主婦（夫）にとっての有給休暇。家事・育児は価値のあること。それを毎日こなしているなら、気兼ねせずに、当然の権利として堂々と主張してほしい。また男性の9割がこの提案に賛成というが、現実には、妻に休みが欲しいと言われたら、ぜひ気持ちよく引き受けてほしい。自分自身、最近数日の「父子家庭状態」を体験したが、妻・母への感謝とともに、家族の団結力・チームワークの大切さを親子で学ぶよい機会になった。父と子の絆を深めるキッカケとして“主婦休みの日”に参加してみるのもよいかも。家族にとっていいことづくめの「主婦休みの日」。夫・パパの立場からもぜひ応援していきたい。(「リビング新聞」5月23日付記事より抜粋)

## 5. 今後の活動

リビング新聞では「主婦休みの日」の認知を広げるために、当社各メディアで告知するとともに、主婦休みの有意義な使い方の提案、父と子の過ごし方の提案などもしていきます。また、「主婦休み」を応援する企業のメッセージなども継続的に伝えていきます。

○ 「主婦休みの日」の趣旨の賛同いただける企業などを「主婦休み応援団」として、そのメッセージ発信、活動を応援していきます。

○ 春の「主婦休みの日」に向けて、当社各メディアで下記のような情報を掲出します。

女性のための生活情報紙「リビング新聞」（首都圏版）

5月23日付で「主婦休みの日」を告知する記事、主婦休みの日お出かけ情報などを掲載

主婦のためのウェブサイト「えるこみ」(<http://www.lcomi.ne.jp/>)

5月21日より「主婦休みの日」の企画ページを、より充実。「主婦休みの日」後には、

「主婦休み」をとった主婦の声を集める掲示板なども設置予定

[★「主婦休みの日」企画ページ \(http://www.lcomi.ne.jp/a/pbshufu/\)](http://www.lcomi.ne.jp/a/pbshufu/)

主婦のためのケータイサイト「シュフモ」(<http://shuf.jp/>)

5月18日～31日に、同サイトのコミュニティ「教えて！教えちゃう」内で、「主婦休み

取りたい宣言」をした人に、「主婦休み資金」をプレゼントするキャンペーンを実施

○ 今後も、秋の主婦休みの日の9月25日、冬の主婦休みの1月25日に向けて、イベントなど各種企画を行っていきます。

<本件についての報道機関などからお問い合わせ先>

株式会社サンケイリビング新聞社編集局

「リビング新聞」編集部／担当：今野

電話：03-5216-9161

<http://www.sankeiliving.co.jp>